

科目名	仏教学講読					単位	2.0
担当教員	福田 琢						
授業形態	演習	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	4291

●授業のテーマ

『八宗綱要』と仏教の基礎

●到達目標

真宗が興る鎌倉期以前に主流であった仏教の諸宗（南都六宗および天台宗と真言宗）について、その歴史と系譜、および基本的教義を理解する。

●学習内容(授業概要)

我が国で古くより仏教諸宗派の教義概要書として用いられてきた『八宗綱要』をテキストに、いわゆる鎌倉新仏教以前の伝統的諸宗派の教義を学ぶ。同時に、各宗派の教義の源流となったインド仏教思想に着目し、ゴータマ・ブッダより始まった仏教が、なぜ後代に見るような様々な宗派にわかれ、多様な思想的拡がりをもつにいたったかを考察する。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 南都六宗と『八宗綱要』
2. 仏滅年代論と第一結集
3. 部派分裂と論の成立
4. 説一切有部と『俱舎論』
5. 『俱舎論』の著者と思想
6. 俱舎宗の存在論
7. 俱舎宗の世界観
8. 俱舎宗の煩惱論
9. 律蔵とは
10. 出家と律
11. 波羅提木叉の概要
12. 『成実論』の作者と年代
13. 成実宗の空思想
14. 部派仏教から大乘仏教へ
15. 前期まとめ

≪後期≫

1. 大乘仏教の発展
2. 俱舎と唯識
3. 法相宗の系譜
4. 法相宗の心理論
5. 法相宗の三性説
6. 唯識から如来蔵へ
7. 『華嚴経』とは
8. 華嚴宗の教義
9. 初期密教と真言宗
10. 真言宗の教義

11. 『般若経』と龍樹
12. 三論宗の教義
13. 『法華経』と天台宗
14. 五時八教
15. 後期まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習（予習）はあまり必要ないが、毎回様々な仏教用語が頻出するので、授業後はノート整理をしながら、理解できない仏教用語や概念について調べる必要がある。不明な点については、翌週の授業中に質問しても良い。

●成績評価方法・基準

平常点4割、レポートもしくは小テスト6割、

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『八宗綱要』、著者名：鎌田茂雄、出版社：講談社学術文庫、販売先：株式会社 Do

●参考文献／その他

特になし

●履修上の注意

出席が大事。自筆ノート持ち込み可の小テストを予定しているので、授業内容をノートにまとめて準備しておくこと。